

## 第5学年1組 道徳学習指導案

平成27年10月23日(金) 第5時限(13:40~14:25)

指導者

- 1 主 題 「いじめ」をしない心とは 4-(2) 公正・公平、正義  
【特別の教科 道徳 C-(13)公正、公平、社会正義】

### 2 ねらいと資料

#### (1) ねらい

誰に対しても差別をすることや偏見をもつことなく、公正公平な態度で接し、正義の実現に努めようとする気持ちを高める。

#### (2) 資料 新聞記事「いじめと生きる」(出典：中日新聞)

愛知県人権啓発ポスター「永遠」、「人間」(出典：愛知県ホームページ)

### 3 主題設定の理由

#### (1) 指導の内容について

いじめは現在、深刻な社会問題になっている。特に、児童にとっていつ自分の周りに起こってもおかしくないような、身近な問題として直面する危険性があると言える。いじめがエスカレートしていくと、いじめられた側が自殺してしまうこともあり得る。被害者も加害者も周りの人間も、誰も幸せにならないいじめに対して、絶対許さないという気持ちを、一人ひとりにもたせていきたい。

#### (2) 児童について

本学級は、自分たちのクラスに愛着をもち、休み時間はクラスみんなで遊ぶなど、児童同士の仲が良い。また、中津川野外学習では、キャンプファイヤーやカレー作りなど、クラス全員で気持ちを盛り上げて、協力して活動することができた。

一方で、小学校入学時から些細なことでも、すぐにトラブルになるクラス・学年でもある。また、以前起こったことをいつまでも言い続けている場面もよく見られる。いじめというものはないが、トラブルが続いてクラスの雰囲気が悪くなることも少なくない。児童には、自分の行動で相手が嫌な思いをしているかもしれないと考える心をもってほしい。そして、いじめの原因になりそうなことを敏感に感じ取り、クラス全員でいじめを無くしていく雰囲気を作っていく必要があると考える。

#### (3) 資料について

本資料は、いじめの加害者が大人になって、いじめの被害者に直接会って謝りたいと願うが、被害者は思い出したくないから会いたくないという内容の資料である。児童にとっては、今までの自分たちのトラブルは、謝れば一応解決できてきた。しかし、いじめというものは、何年経っても許し難いものであり、被害者だけでなく加害者も後悔をもち続けるものである。

そこで、まず、授業の1週間前から道徳壁新聞成長編で、授業の次回予告と人権啓発ポスターを掲示して、いじめについて事前に考えさせておく。また、事前に「いじめとけんかの似ている部分と違う部分」を家庭学習で記述させるようにする。

授業の最初に、過去の文献の中から、いじめに関する記述を紹介する。いじめが1300年以上前からあることを知らせることで、いじめは簡単には無くならない問題であることを捉えさせる。

次に、新聞記事「いじめと生きる」を読んで、いじめの加害者側と被害者側の気持ちを考えさせる。資料を前後半に分けることで、「謝ることもしてほしくない」という被害者の気持ちを強調して、いじめは謝っても簡単に済む問題ではないことを捉えさせる。

主発問では、いじめは無くせるか、無くせないかを考えさせる。その後、どんな気持ちがあるからいじめは無くせるか、どんな気持ちがあるからいじめは無くせないか考えさせ、いじめを無くすために大切な気持ちについて、クラス全体で共有する。

最後に、事後活動の家庭学習において、保護者に「もし、自分の子どもがいじめの被害者や加害者になったらどう思うか」について聞くことで、いじめは加害者と被害者だけでなく、周りの人も不幸にすることを実感させ、いじめを無くしていききたいという気持ちを高めていきたい。

#### 4 本時の指導

- (1) 準備 教師：資料「いじめと生きる」新聞記事、記述用紙、家庭学習プリント  
 児童：「いじめとけんかの似ている部分と違う部分」家庭学習プリント
- (2) 関連  
 「アンパイアの心」（5年）、「愛の日記」、「モントゴメリーのバス」（6年）
- (3) 指導過程

時間配分	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点																								
	<p><b>事前活動</b></p> <p>1 人権ポスター「永遠」を見て、意欲を高める。</p> <p>2 道徳壁新聞「助走編」を見て、いじめがいつ頃からあるものなのか考える。</p> <p>3 いじめとけんかの似ている部分と違う部分を記述する。</p>	<p>○ 授業の1週間前に学級の掲示板上に掲示をすることで、本時の道徳に対する意欲を高める。</p> <p>○ 「いじめはいつ頃からあると思いますか。」という問いと共に、4択クイズにする。</p> <p>○ 家庭学習プリントを4日前に配付して、じっくり考えて記述させる。</p>																								
	前 面 黒 板	背 面 黒 板																								
	<p>この気持ちがあれば無くなる          同じ人間だと思ふ気持ち          願つて無くなる          いじめは無くなる          違いと対峙できる          似てるとは違う          いじめの歴史          ・千年前          ・二千年前          ・三千年前          ・千年以上前</p>	<p style="text-align: center;"><b>教室の道徳隊形</b> 児童机</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">前 面 黒 板</div> <div style="text-align: center;"> <table border="1" style="margin: 0 auto;"> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td colspan="6" style="text-align: center;">○教師</td></tr> <tr><td colspan="6" style="text-align: center;">児童机</td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">背 面 黒 板</div> </div> <p>この気持ちがあるから無くなる          自分より上には立ちたいという気持ち          ・世の中は考える人いる          ・からだにいいものはない          ・小さい分けはくならない          ・いじめは無くせない          ・ずっと昔</p>							○教師						児童机											
○教師																										
児童机																										
5分	1 いじめの歴史を知る。	<p>○ 児童の多くの発言を取り上げ、立場の意見がいつでも一目でわかるように、前面黒板と背面黒板の二つを利用する。</p> <p>○ 児童が互いの表情を見ながら発言できるようにするために、授業開始前に道徳隊形になっておく。</p> <p>○ 20年前、300年前、1000年前、1000年以上前の中から選ぶ、4択クイズにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>発問：「いじめは、いつ頃からあると思いますか。」</p> </div> <p>○ 20年前＝担任と同じ年であった中学生がいじめを</p>																								

15分	2 資料からいじめを考える。 (1) 資料①を読んで考える。	<p>苦に自殺したこと、300年前＝江戸時代に身分差別された人がいたこと、1000年前＝万葉集の中に、役人が農民をいじめる話が出てきたこと、1300年前＝古事記の因幡の白ウサギの話が出てきたことを伝え、昔からいじめがあることを知らせる。</p> <p>○ 教師が資料の範読をする。</p>
<p>発問：「いじめをしていた人についてどう思いますか。」</p>		
<p><b>【予想される児童の反応】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめたことはだめだけど、反省しているからよい。</li> <li>・いじめた人に会って、しっかり謝ってほしい。</li> </ul>		
	(2) 資料②を読んで考える。	<p>○ いじめの加害者が、時間が経ち、自分のしたことを反省し、謝罪したいという気持ちに変わったことを捉えさせる。</p> <p>○ いじめの被害者は、いつになっても許せないことと、いじめの加害者も、後悔することを理解させる。</p>
<p>発問：「資料②を読んでどう思いましたか。」</p>		
<p><b>【予想される児童の反応】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・何年経っても、被害者は覚えているのか。</li> <li>・自分たちはけんかしても謝れば許してもらえりけど、いじめは謝っても許されないのだ。</li> </ul>		
22分	3 いじめを無くすことができるのか、考える。	
(1)	(1) いじめとけんかをしたことがあるか想起する。	○ 「いじめをしたことはあるか」という発問に対しては挙手をさせないようにする。
<p>発問：「いじめをしたことはありますか。けんかをしたことはありますか。」</p>		
<p><b>【予想される児童の反応】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・けんかはしたことがある。</li> </ul>		
(4)	(2) いじめとけんかの似ている部分と違う部分を考える。	○ 事前に考えてきたことを参考に、いじめとけんかの似ている部分と違う部分を分けて記述する。
<p>発問：「いじめとけんかの似ている部分がありますか。また、違う部分がありますか。」</p>		

【予想される児童の反応】

- ・けんかもいじめも、どちらもすると嫌な気持ちになるところが似ている。
- ・けんかは両方悪いけど、いじめはいじめている人が悪いところが違う。
- ・けんかはすぐ仲直りできるけど、いじめは仲直りできないところが違う。

(2) (3) いじめは無くせるか、無くせないか  
考え、記述する。

○ 自分の周りやクラスからは、当然いじめを無くさなくてはいけないことを伝える。

発問：「いじめは無くせると思いますか。無くせないと思いますか。」

(8) (4) 意見を発表する。

○ 自分の意見を表出させるために、立場ごとに全員起立させ、同じ意見や似ている意見が出たら着席するようにさせる。

【予想される児童の反応】

**無くせる立場**

- ・みんながいじめを無くしたいと意識すれば、無くせる。
- ・いじめの報道があつて、みんなが無くしたいと願っているから。
- ・クラスのみんが、いじめはいけないと考えることができているから。

**無くせない立場**

- ・小さいいじめはなくならないと思う。
- ・みんながダメだと分かっているのに、ずっと昔から続いているから。
- ・いじめはいけないと考える人はいいけど、世の中には考えない人もいるから。

(2) (5) 人権ポスター「人間」を見る。

○ 様々な視点からのいじめを理解するために、自分と同じ立場や違う立場の意見の中で、いいと思った考えや自分になかった考えを付け足していくように伝える。

(5) (6) いじめを無くすための気持ちについて考える。

○ 人間には誰しもが二面性をもっており、自分の思いや心掛け次第で傷つける立場にも、思いやる立場にもなりうることを知らせる。

○ いじめについて、多面的・多角的に考えさせるため、本時の目標である公正・公平、正義とは違う視点で考えている意見も認めていくようにする。

主発問：「人間の中にどんな気持ちがあれば、いじめを無くすことができますか。また、どんな気持ちがあるから、いじめは無くせないと思いますか。」

【予想される児童の反応】

**無くせる立場**

- ・自分も相手も同じ人間だと思ふ気持ち。だから、どんな人にも優しくしていきたい。
- ・相手を思いやる気持ち。→今の自分にはあまりないので、これから意識しようと思った。

**無くせない立場**

- ・自分のことが一番で、人より上に立ちたいという気持ち。この気持ちを変えて、みんな一緒という考えになれば、いじめは無くなっていくと思う。
- ・自分がされたら怖いという弱い気持ち。でも、一人ひとりが強い気持ちをもって、いじめに立ち向かって行ければ、いじめはきっと無くすことができる。

**評価事項**

「自分も相手も同じ人間だと思ふ気持ち。だから、どんな人にも優しくしていきたい。」「一人ひとりが強い気持ちをもって、いじめに立ち向かって行ければ、いじめはきっと無くすことができる。」等、いじめを無くすために必要な気持ちや行動を考えることで、絶対にいじめを無くしたいという強い意志を記述している。【プリントの記述】

□… いじめられている人を見つけた時の気持ちを考えさせ、自分がいじめられなくても、いじめは嫌なものだと考えるきっかけを与える。

☆… 自分の周りからいじめを無くすことは当然として、クラスや学年、学校などの集団として、いじめとどう向き合っていくことが必要であるかの視点に気付かせ、当事者以外の在り方などについて考えさせる。

3  
分

- 4 本時のまとめをする。
- (1) 教師の説話を聞く。
- (2) 家庭用プリントの説明を聞く。

- 児童に、いじめはあった方がいいか、無い方がいいか聞き、いじめは無い方がいいと全員考えていることを押さえる。
- 自分の周りから、クラス、学校全体へといじめを無くしていくという雰囲気を作り、いじめを無くすことができるのは自分自身であることを意識させる。
- 家庭用プリントでは、保護者と自分がいじめの被害者や加害者になったらどう思うか、話し合ってくるように伝える。

**事後活動**

- 1 授業で考えたことについて、家庭で保護者と再度考える。
- 2 家庭学習プリントを提出する。
- 3 道徳壁新聞「成長編」の掲示を見る。
- 4 再度、教師の話聞く。

- 授業で高まった意識を、再度自分で考えたり、保護者と話し合ったりして、さらに意識を高めさせる。
- 保護者記述欄に、家庭での話し合いのテーマ「もし、自分の子どもがいじめの被害者や加害者になったらどう思うか聞きましょう」と話し合いの観点を入れ、話し合いがスムーズになるようにする。
- 正義の心や思いやりを大切にしていこうとしている部分にラインを引いて教師のコメントを入れる。
- 掲載者の許可を取る。
- 家庭学習プリントへ記述していく意欲を高めるため、できるだけ毎回掲載する児童や保護者を変える。
- 朝の会の時間などに教師の思いも話し、高まった意識を定着・継続させる。

# 永遠

学校に行く。

あの人たちのいる教室に行く。

こんなに辛いのに。なぜ？

親は知らない。先生には言えない。

笑わない一日が、

まるで永遠のように。



「子どもの人権」について考えよう。

# 人間

人間はとても怖い生き物だ。

人間はとても優しい生き物だ。

わたしだって人間だ。

怖くて優しい人間だ。

人間を傷つけるのは人間だ。

人間を思いやるのも人間だ。



人間の権利「人権」について考えよう。

# 道徳プリント

名前 ( )

- ・ いじめとけんかのどんなところが にていますか。
- ・ いじめとけんかのどんなところが ちがいますか。

にているところ	ちがうところ

書けるだけ 書き出してみましよう。



# 道徳プリント

( ) 月 ( ) 日 ( ) 曜日

名前 ( )

1. いじめは、( )

自分がこの立場を選んだ理由

---

なるほどと思った友達の意見や付け足し

2. 人間にどんな気持ちが

( )

# 家でも 道徳 考えてみよう

( ) 月 ( ) 日 ( ) 曜日  
名前 ( )

1. 今日の道徳で学んだことを、もう一度じっくり考えてみよう。  
新しく知ったこと、自分の考えたこと、特に印象に残った友達の意見などを書こう。

2. 今日の道徳で学んだことを、家の人と話してみよう。  
話し合ったことや、なるほどなと思った家の人のお考えや意見などを書こう。  
特に、自分の子どもが、いじめの被害者や加害者になってしまったらどんなことを  
思うか聞いてみよう。

3. 今日学んだことを、これからの自分にどういかしていきたいか書こう。

<先生から>